

G7＋外相会合
林大臣ビデオ・メッセージ
(11月29日(火))

今回のG7＋外相会合を主催される議長国ドイツのベアボック外務大臣に敬意を表します。民間人や民間施設への攻撃は、国際法違反であり、断じて正当化できないものです。

日本は、この攻撃を改めて強く非難します。

我々はまた、ロシアの攻撃により多くのエネルギー・インフラ施設を含む民間施設が破壊され、ウクライナ各地において大規模な停電が発生していることを憂慮しています。

停電により暖房設備や照明器具を使用できない人々に対する支援は喫緊の課題です。

この観点から、日本は、緊急エネルギー・インフラ支援に関する調整メカニズムを支持しています。

日本はこれまで、ウクライナ及びその影響を受けた関係国に対し、約11億ドルの人道、財政、食料関連の支援を表明し、順次実施してきております。

さらに、越冬支援の緊急のニーズをふまえ、11月22日には、緊急無償資金協力を決定し、学校や病院等の民間施設へ発電機を供与し、戦争の影響を受けた家庭に対してソーラー・ランタンを配布します。

さらに、現在補正予算案による追加的な支援について国会で承認を求めているところであり、引き続きウクライナの人々を力強く支援していきます。

緊急人道支援に加え、我々はエネルギー・インフラ分野も含めウクライナの人々の生活再建のための支援を行っていく考えです。

引き続き、G7＋のパートナーと緊密に連携しながら、ウクライナの人々に寄り添った支援を実施していきます。